

会 議 録

日 時	平成 25 年 1 月 29 日 (火) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 00 分
場 所	本庁舎 2 階 第 1 会議室
会議名	第 5 回大垣市新庁舎建設市民懇話会
内 容	1 大垣市新庁舎へ求める機能に係る検討報告書について 2 特別講演 演題「巨大化する想定大地震 ～南海トラフの巨大地震と内陸直下地震～」
出席者 (敬称略)	(委員)【計 9 名】 竹内治彦、杉戸真太、北野茂樹、竹中昌子、堤 俊彦、長瀬ちえ子、松本正平、大澤智恵子、小林志壽子 (市)【計 5 名】 小川 敏 (大垣市長)、川合幸典 (総務部長)、野崎重光 (契約課長)、安田佳樹 (主幹)、小川健志 (主査)
欠席者	(委員)【計 2 名】 國枝義見、牧野英紀
傍聴者	4 名
事務局	みなさん、こんにちは。 定刻となりましたので、ただいまから大垣市新庁舎建設市民懇話会の第 5 回会議を開催いたします。 本日は大変お忙しい中をお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。 それでは、司会進行を竹内会長にお願いしたいと思います。
会長	議題1、大垣市新庁舎へ求める機能に係る検討報告書についてということで、4回に渡って皆さんと協議してきました「大垣市新庁舎へ求める機能」について検討報告を行います。 報告書の提出につき、事務局より説明をお願いします。
事務局	まず、お手元に配布してあります資料ですが、前回までの会議にて皆さんからご意見をいただいた内容を踏まえて、「大垣市新庁舎へ求める機能に係る検討報告書」の写しを配布させていただいておりますのでご確認ください。 それでは、ここで、竹内会長さんより市長に対しまして、当懇話会での検討結果を報告していただきたいと思ひます。恐れ入りますが、小川市長と竹内会長は、ご起立し移動

<p>会長</p>	<p>をお願いします。 ～市長、会長移動～ それでは、よろしくをお願いします。</p> <p>平成 24 年 10 月 16 日、24 契第 103 号にて依頼を受け、大垣市新庁舎に求める機能につき、4 回に渡り検討を実施した結果につきまして、報告書を提出します。</p> <p>本庁舎は、現在、築 48 年が経過して老朽化が進んでいる上に、平成 7 年から 8 年にかけて実施された耐震診断結果においては、耐震性が低いと判断され、防災拠点施設として十分な役割を果たすことは困難であると言えます。</p> <p>市役所は、多様化する市民ニーズに総合的かつ効率的に対応し、市民サービスの向上と効率的な行政運営を実現するための基盤になるべきものです。</p> <p>よって、当懇話会では、現庁舎の問題点を踏まえた上で、安全性、利便性、効率性などの観点から、市民の生活を支えていく未来の新庁舎のあるべき姿を提言します。</p> <p>今後、新庁舎建設に向けた基本構想、基本計画策定などにおいては、当懇話会の報告にとどまらず、市民からの意見を反映・集約しながら、更に深く検討を重ね、着実に計画的な新庁舎建設推進を切に期待します。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。 席のほうへお戻りください。 ～会長、市長着席～</p> <p>それでは、今回、最終会議ということで、各委員の皆様より、懇話会の感想など、簡単にご発言いただければと思いますので、杉戸副会長よりお願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>この後、特別講演ということで話をさせていただきますが、この委員会に出席させていただき感じたことを述べさせていただきます。</p> <p>通常、市役所を建設する際に、防災という観点を踏まえて、どうあるべきかを議論されることは少なかったわけですが、先の東日本大震災を受けまして、大垣市でも、防災拠点となる市役所にどういった機能を持たせるべきかということで、こういった懇話会を設置されたものと思います。</p> <p>開催回数が少ないなか、建設場所も未定であり、熱のこもった議論というところまでは至らなかったかもしれませんが、一般の市民に対しても議論に参加する機会をもつていただいたという意味ですばらしいことだと思います。</p> <p>近い将来、市役所を建設されるということですが、大垣市は水が豊富で非常に素晴らしい利点がありますが、防災上は問題になってくるところが多々ありますので、そういつ</p>

	<p>た状況も踏まえて、立派で市民にとって効果のある市役所を建設していただきたいと思 います。どうもありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>委員への拜命を受けた際、新庁舎に持たせる機能にかかる会議で、建設場所は議論の対 象ではないということでしたが、最初から対象ではないことがはっきりしていたのが逆 に議論しやすかったのかもしれませんが。</p> <p>刈谷市を視察した後、自分なりに深く考えてみたことがあります。それは、新庁舎の機 能と直接、関係ありませんが、仮に市役所が移転すると、現市役所を取り壊し空地がで きることとなります。その空地利用は、市民がふれあう森といった公共施設のようなも のを建設するのが一般的だと思いますが、はたして、この時代、そういった施設を建設 するほど大垣市が財政豊かで居続けられるのかということと厳しいと思います。</p> <p>数年前の市町村合併時には、私は、いろいろ動いていましたが、当時は、大垣市を中心 に西濃市を目指していました。しかし、その時、今、そして未来は環境が違いますし、 国会で道州制のことが議論されていることも踏まえて、名古屋、岐阜市に吸収合併され る日がくるかもしれません。そういった中、空地対策としては、大垣市の経営方針とし て、いかに付加価値の高いものを作るかということが重要になってくると思います。</p> <p>市中心部の広大な土地で、市民の憩いの場所、老若男女が集う場所を作ったから幸せだ とかいうことではなく、例えば、民間企業によるコンペディションを実施するなどの斬 新なアイデアをもって、大垣市の経営感覚を伴ったビジネス力豊かな空地利用を行い、 他市に吸収されないような財政力を持つ大垣市にしていってほしいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>建設場所について意見を言える会議だと思い参加させていただきましたが、建設場所で はなく建物機能に関することだという中で会議が進んでいきました。</p> <p>市役所の機能は様々あると思いますが、防災機能という点に興味がありました。各地に は防災センターなどが設置されていますが、突然の災害時にはたして機能するかどうか 心配になってきました。</p> <p>現市役所を改めて見学させていただいた際、玄関と入口正面階段が大きく設計されてお り、とても良い市役所だなと感じました。刈谷市へお邪魔した際、2階までエスカレー ター、そこから上は階段が設置してありましたが、階段が非常に狭く、多くの人が集ま ってくる市役所としては広さということが大事だと感じました。</p> <p>建設場所など思うこともいろいろとありましたので、懇話会に参加することができ、あ りがたく思っております。ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>当懇話会へ参加する機会を与えていただいたことに感謝しています。</p>

市役所へは何度も来ていますが、用事がある場所へしか行ってなかったこともあり、市役所にこういった機能があるのか、全体から考えることができたのでよかったと思っています。

刈谷市役所では、各フロアーに憩いの場所が設置してあったのを見まして、証明書発行などを行っている市役所ですが、市の中心部にある施設ですので、市民が気軽に立ち寄れて、くつろげる場所があった方がいいなと感じました。また、夜間、警備員の関係で庁舎内での会議を開催できなくなったと聞いていますが、市民団体等が会議など気軽に開催できるような場所があるといいと思います。

交通の便から言いますと、誰もが車で来れるとは限らないので、バスなどの公共施設を使ってみえる方々などにとっても便利であるような場所がいいと思います。

委員

この会議へ参加することになり、周囲の皆さんから「いろいろ言ってくれよ」と言われましたが、建設場所に関することは発言できないよと伝えると、皆さん何も言われなくなりました。

現市役所の場所は、お城があって水門川があり、本当にいい場所だと思います。もし他へ移転するというのであれば、今後の活用を期待したいと思います。

刈谷市役所へ行かせていただいたのは非常に参考になりました。刈谷市役所で感じたことは、入口から入った瞬間に機能的な空間すぎるかなと思ったことです。大垣市役所へ帰ってきて、なにかホッとするような感じがあり、機能性だけではなく、エントランスでお客様をお迎えするような場所が必要だと感じましたし、文化都市大垣を感じさせる市役所がいいなと思いました。

また、協議している中においては、女性の委員さんが、私では気付かないような非常に細かい部分を気づいていただけたので、いろんな意見がでた部分がよかったと思います。

委員

市民目線の意見ということで委員に入らせていただきました。

会議中において、周囲の皆さんの意見を会議で発言できればよかったのですが、年末年始の3カ月の開催期間中、選挙などありまして、なかなか意見を集約しきれなかったのが申し訳なかったと感じています。

刈谷市役所については皆さんが発言されたように、良い点、悪い点はいろいろあると思いますが、書類申請などの窓口業務はサービスセンターでもできると思いますので、必要な時に市役所へ行って会議などをしたいと思えるような市役所にしていただけるとよいと思います。

今後も、各種審議会など、一般市民の方が広く参加できるような仕組みを継続していた

<p>委員</p>	<p>できればありがたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>この会議に参加して、夢のような市役所をいろいろと言っていましたが、皆さんや行政側の意見を聞いていると、やはり現実問題となると、様々な制約があることがよくわかった会議でした。</p> <p>それでもあえて言わせていただければ、大垣の街のシンボルとなる市役所であってほしいと思います。</p> <p>刈谷市役所も含めて、他庁舎も見てきましたが、やはり機能面が前面に出ているような気がしました。大垣市役所に帰ってきてエントランスを見たとき、慣れ親しんだ庁舎ということもあるかもしれませんが、暗いですがホッとするものを感じました。田舎くさいかもしれませんが、温かみを感じることができる、言い換えれば文化的な街「大垣」をアピールできるような建物であってほしいと思います。</p> <p>会議中、市のランドマークとしてという発言がありました。大垣らしさとは何かということもありますが、それは今後、専門家の方々の深い議論がこの先に必要になってくると思いますが、今後もいろいろな方の意見を聞いていただけるといいなと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>市民が気楽に公共交通機関を利用して来れる場所にということで、現庁舎が建っているこの場所は最適だと思います。郊外でもいろいろと便利な場所はあると思いますが、子どもから大人まで公共交通機関を使って来れる場所はやはり中心部かなと思います。</p> <p>また、市役所というのは大垣市のシンボルになります。大垣市のシンボルは「水」だと思いますので、例えば、市役所の前に自噴水設備を作って水都大垣にふさわしいものにしていただきたいと思います。</p> <p>また、今後、市役所には防災機能が重要になってくると思いますので、避難所などを兼ね備えた市役所になるといいなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ただいま報告書を提出することができて非常にほっとしています。</p> <p>最初、委員の話をいただいたときに、市長も大きな決断をされたと思いました。その後、いろいろ勉強させていただくと、築48年が経過しており、高度成長期初期の建物では、最近、高速道路で大きな事故がありましたが、インフラ的にも問題があるということがわかりました。また、建設協議開始から竣工まで7年ほどかかるということも驚きで、その年数を足しますと、完成時には築55年程度経過することになります。</p> <p>コンクリート構造の建物は約60年程度が限界で、時期的には建替えのタイミングが来ていることがわかりました。</p>

今後、建設場所も含めて、市民の皆さんの意見をまとめ上げながら建設していくことはとても大変なことだと思います。この建物は、とてもユニークで個性があり綺麗な建物だとは思いますが、建物的に限界が近づいておりますので、着実に進めていってほしいと思います。

それから、市民アンケートでは、コストパフォーマンスを重視する意見が多かったんですが、当懇話会としては、経費面に配慮しつつ、大垣を象徴する部分を加えていただけたらと思います。財政的に厳しいですし、人口が増えていくわけでもありませんので、いろいろ難しい点はあるかと思いますが、そういった点を踏まえて、前に進めていただけたらと思います。

本日、これで5回目の会議となりました。回数的に少なく時間的に余裕がある会議ではなかったですが、委員の皆様からの確かな意見を頂戴することができました。また、一般的にこうした報告書は最初から書かれているような印象を持たれることもあるようですが、今回は、各委員さんからの意見を必ず文言として表現させていただき、毎回、報告書に修正が加えられた点においては、よい議論ができ、よい報告書が出来たのではないかと考えています。

これも、ひとえに、皆様のご協力によるもので、深く感謝申し上げます。

以上で、議長職を解かせていただきたいと存じます。

皆様、本当にお疲れ様でした。

事務局

それでは、ここで、小川市長よりご挨拶申し上げます。

市長

ただいま、報告書をご提出いただき、ありがとうございます。

本日は、大変お忙しいなか、大垣市新庁舎建設市民懇話会第5回会議にお集まりいただき誠にありがとうございます。

皆様には、昨年10月16日、当懇話会の委員に委嘱させていただき、大垣市新庁舎に求められる機能に係る検討をお願いさせていただきましたが、会議では現庁舎内や先進地である刈谷市の免震構造などを積極的にご視察いただいた上、熱心にご議論いただいたと聞いており、本日、こうしてご報告を賜りましたことに深く感謝申し上げます。はじめに、杉戸先生よりお話がありましたとおり、今まで、市役所というのは、あまり防災機能が重視されていなかったわけですが、東日本大震災以降、それが見直されてきたということは事実だと思います。

今の庁舎はエントランスホールが広いけれども暗いというような意見もいただきましたが、建設当時にすれば非常にモダンで明るい庁舎であったのではないかと思います。しかし、逆にガラスが多いため、防災機能が悪いということにもつながっていますので、

	<p>機能性や安全性を追求すると同時に、親しみやすい市役所を造ることが大切だと考えております。安全性の高い防災拠点となる施設で、コストが高くても長持ちする市役所を求められているような気がしますし、市民の方も入りやすく、利便性の高い市役所にしていく必要があると感じています。</p> <p>本日いただきました報告書にございます様々なご意見を十分に尊重しながら、新庁舎建設を推進してまいりたいと存じます。</p> <p>委員の皆様、本日まで、本当にありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上で、大垣市新庁舎へ求める機能に係る検討報告を終了いたします。</p> <p>ここで、市長ですが、他公務によりまして、退席させていただきます。</p> <p>～市長退席～</p>
事務局	<p>続きまして、議題2ということで、杉戸先生より、演題「巨大化する想定大地震～南海トラフの巨大地震と内陸直下地震～」ということで、特別講演をお願いしたいと思いますのでよろしく申し上げます。</p>
講師	<p>～特別講演～「巨大化する想定大地震～南海トラフの巨大地震と内陸直下地震」</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>これもちまして、本日の会議を終了させていただきます。また、本日の会議をもちまして、本懇話会も終了となります。</p> <p>皆様方におかれましては、たいへんお忙しい中、ご審議賜りまして、誠にありがとうございました。</p>

No.	会議録署名欄
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	